

第12回



日本肝がん 分子標的治療研究会 優秀演題論文集

当番世話人 日野 啓輔 川崎医科大学肝胆膵内科学教授

開催日時：2015年6月6日(土)

会場：倉敷アイビースクエア(岡山県倉敷市)

「The Liver Cancer Journal」では、「日本肝がん分子標的治療研究会」の準機関誌といたしまして、年2回開催されます同研究会の優秀演題論文集を掲載して参ります。掲載演題につきましては、Session座長の先生方よりご推薦いただきました。

要望演題

- Session 1 PD判定後のソラフェニブ継続投与の効果と後治療への移行タイミング
和田 幸之 国立病院機構九州医療センター肝胆膵外科/同 臨床研究センター
- Session 2 進行肝細胞癌に対するソラフェニブのサポートプログラム「ネクサリンク」による服薬期間延長効果
泉 夏美 佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター
- Session 3* 肝細胞癌症例におけるソラフェニブ投与の肝血流変化と局所治療への応用
福田 浩之 横浜市大付属市民総合医療センター消化器センター
- Session 4 肝細胞癌に対するDEB-TACEの治療効果とその判定
堀井 里和 金沢大学附属病院消化器内科
- Session 5 ソラフェニブ治療における腸腰筋横径の変化と予後予測
山島 美緒 長崎大学病院消化器内科
- Session 6 HCC fine-needle biopsyサンプルを対象としたDNAシーケンシングの実施可能性とソラフェニブ効果予測マーカーの探索
坂井 和子 近畿大学医学部ゲノム生物学教室
- Session 7 分子標的薬を用いた全身化学療法におけるAFP-L3分画の意義
青木 智子 兵庫医科大学内科肝胆膵科
- Session 8 肝細胞癌術後肺転移病巣に対してソラフェニブによる加療が奏効した超高齢者の1例
浅野 徹 東京都立墨東病院内科
- Session 9 ソラフェニブとTACEを併用し、長期生存を得ることができた1例
大原 芳章 大阪赤十字病院消化器内科
- Session 10 肝細胞癌標的治療薬としてのDPP-4阻害薬の分子生物学的解析
仁科 惣治 川崎医科大学肝胆膵内科学
- Session 11 ソラフェニブによるBCRP遺伝子調節機構の解析
藤井 翔子 東邦大学薬学部病態生化学研究室

*：Session 3の論文掲載はございません。

SAMPLE

The Liver Cancer Journal 2015-12 Vol.7 No.4

61 (293)